

**令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク**  
**〔福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック〕開催結果**

<開催日時> 令和2年12月11日（金）18時～19時  
<場 所> 市民プラザたけふ3階 大会議室1  
<出席者> 民間保育園保護者会連合会越前ブロック  
会長 角井 尚史氏（二葉保育園）  
副会長 三田村 宇泰氏（浪花認定こども園）  
          中井 康貴氏（わかたけ認定こども園）  
          中野 浩輔氏（南保育園）  
会計 山田 真己（高瀬保育園）

越前市民間保育園

園長 藤 光真（二葉保育園）  
          山本 聖三（味真野保育園）  
副園長 垣内 忠義（神山認定こども園）

（市側）

奈良市長、  
市民福祉部 川崎部長、須磨政策幹、  
子ども福祉課 出口理事、渋谷副課長

<てんぐちゃん広場見学>

17時半～17時50分

新しい遊具を含めて見学（子ども・子育て総合相談室 須本室長対応）

<会議概要>

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 民間保育園代表あいさつ
- 4 市長あいさつ及び越前市の主な取り組みについて

## 5 意見交換

事前提出の意見・質問事項に対する回答は別紙のとおり

### 追加質問・回答（園より）

Q：災害にはいろいろなパターンがあると思うが、台風や大雨など前もって情報が分かる場合には、開園するか休園するかは園の判断で決定することになる。ただ、台風がすごい時に職員が出勤するのも心配である。一方、仕事を休めない家庭は子どもを預からなければならない。福井市では、何拠点か場所を作って子どもを受け入れる計画を作成していると聞いた。園としては、職員を守らなければならないし、子どもも預からなければならない。越前市として、基準についてあったら教えていただきたい。

A：先日、県の市町担当課長会議においても、このことが話題になり、市町側からは、県で基準を作ってほしいという要望を出したが、県からは、各市の実態に即した形ですすめてほしいとの回答であった。

本市では、緊急連絡網を活用し、避難指示や休園依頼を行っている。ただし、局地的な災害などにより、地域によって休園する園としなくてもいい園がある。また、家庭保育ができる家庭とできない家庭があり、子どもの数も読めないという点も課題。

災害の状況により代替施設を至急検討し、職員もあわせて避難していただき、そこで保育を実施するという想定をしている。今後一緒に考えていきたいと思う。

また、保護者の方もあわせて、疑問や要望は適時子ども福祉課までご意見をいただき、より良い子育て環境にしていきたい。また節目として、この市長と語る会で意見交換し、必要に応じて、県や国に要望し取り組んでいきたいと思う。

## 別紙

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
 (福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	健康増進課
<p>課題1  「小児医療の拡充  について」  (意見・質問事項)</p>	<p>《イ》 丹南地区には小児救急医療センターがありません。休日・夜間に対応できる小児救急医療センターを開設してください。</p> <p>子どもは夜中や休日にかぎって発熱や怪我をするものですが、現状は福井市の「福井県子ども急患センター」に走らなければなりません。#8000 の子ども医療相談は一回線しかなく、つながらないこともあります。安心して子育てができる環境に小児医療の充実は不可欠です。</p> <p>また、越前市には産婦人科医院が一ヶ所しかありません。今後安心して出産できるように医院に支援を行って下さい。</p> <p>《ロ》 子どものインフルエンザの予防接種の補助はとてありがたいので今後も継続してください。</p>
<p>回答内容</p>	<p>《イ》 小児救急医療の問題については、市としましても重要な課題であると認識し、毎年継続して県に要望をしております。県は高度医療が必要な小児周産期医療について集中化・集約化を進めていますが、二次医療圏である丹南圏域での小児科医・産科医については減少しないようにしていきたいとの理解も示していただいています。</p> <p>全国的な小児科医の不足が叫ばれる中、県内ではそれ以上に小児科医の確保が厳しい状況であるため、令和2年4月1日にリニューアルオープンした「福井県子ども急患センター」に市内の小児科医も当番制で執務されています。</p> <p>なお、本市においては、平成29年4月から中村病院に小児科外来新設に続き、平成31年4月からは池端病院に重度心身障碍児の専門医による週1回外来診療、訪問診療が開始されました。市内のかかりつけ医機能を十分に発揮できるよう、保護者のみなさまにご協力を頂くとともに、開催要望のある「こどもの救急時の対処法についての講習会」で小児科医との距離を縮め、対処法や救急医療受診判断の普及啓発にもご協力いただきますよう、お願いいたします。</p> <p>今後も、産科、小児科の医療体制の充実について、引き続き重要要望として、国・県に対して強く要望してまいります。</p>

《ロ》 今回の事業は、今冬からの新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザの同時流行の備えとして緊急的に実施するもので、今年度限りの事業です。

来年度の実施については、新型コロナウイルス感染の状況がどのようになっているか不透明でありますので、来年秋の状況を確認しながら適切に対応したいと考えています。

【参考】 県内の夜間、休日の診療体制

- 「#8000 子ども救急医療電話相談」
- 「福井県こども急患センター」（福井市休日急患センター内）  
診療時間：平日19時～23時、休日9時～23時
- 重症の小児患者診療「小児救急夜間輪番病院」  
診療時間：23時～翌朝8時  
嶺北：福井済生会病院、福井県立病院、  
福井赤十字病院、福井大学医学部付属病院
- 「休日急患センター(診療所)」福井市、大野市、敦賀市で実施
- 「休日在宅当番医」  
越前市：9時～17時、2医療機関で対応。

-----

平成26年7月～	橋本小児科クリニックが午前のみ診療
平成29年8月	たけふ子どもクリニック閉鎖
平成29年4月1日～	中村病院に小児科外来新設
平成31年4月～	池端病院に重度心身障碍児の専門医が 週1回外来診療・訪問診察開始

「福井県子ども急患センター」は

平成23年4月に開設され、嶺北地域の協力していただける開業小児科医及び県立病院の勤務医などで運営している。

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
(福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担 当 課 名	都市整備課
課題2 「交通・安全対策について」 (意見・質問事項)	《イ》融雪装置の設置は着実に進んでいるようですが、保育園・こども園周辺の狭い道路への融雪装置の設置も推進してください。
回答内容	<p>平成30年2月の大雪を踏まえ、平成30年度に「市道路無雪化事業整備計画」の改定を行い、消雪施設の整備を行っています。</p> <p>保育園・こども園の周辺をはじめ、市道については、現在、多くのご町内等から消雪施設の整備要望があります。</p> <p>本市としては、地下水の収支バランス崩れによる地盤沈下なども考慮し、緊急性・必要性が高く、整備が可能な路線において、順次、整備を行っているところです。</p>

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
 (福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	防災危機管理課
<p>課題2  「交通・安全対策について」  (意見・質問事項)</p>	<p>《ロ》 防犯カメラの設置は進んでいるのでしょうか。  《ハ》 横断歩道で子どもが待っていても車が平然と通過していきます。市でも企業等に働きかけてドライバー教育を行ってください。</p>
<p>回答内容</p>	<p>《ロ》 防犯カメラについては、令和元年度から自治振興会などが設置する防犯カメラに対する補助制度を県が設け、市も県と合わせて、設置に対する補助金を自治振興会に交付するなど設置の促進に努めています。</p> <p>設置の状況については、令和元年度は国高地区で5台、北新庄地区で2台、王子保地区で5台、坂口地区で2台の計14台設置されました。</p> <p>令和2年度は、東地区で4台、吉野地区で2台、国高地区で5台、北新庄地区で4台、王子保地区で5台の計20台が設置される予定です。</p> <p>また、市では今年8月に、防犯カメラの取組みがなされていない地区の自治振興会を訪問し、設置が望ましい箇所を具体的に提示し、設置の依頼や協議を行いました。併せて、小学校へも出向き、児童の安全確保の点から自治振興会に対する設置の働きかけをお願いした結果、来年度はさらに設置する地区が増える予定です。</p> <p>県の補助制度は令和4年度までなので、民保連の皆様におかれても、園児の安全確保の観点から自治振興会に対し、早期の防犯カメラの設置について、働きかけをお願いします。</p> <p>《ハ》 信号機のない横断歩道での交通死亡事故は、自動車の横断歩道手前での不十分な減速が原因で多発しているとの国の分析結果があります。こうしたことから、国は平成30年10月に「信号機のない横断歩道における歩行者優先等を徹底するための広報啓発・指導の強化について」の通達を発出し、運転者に対し、横断中はもとより横断しようとする歩行者の保護に資する指導を重点的に行うよう警察関係機関に要請し、越前警察署においても、重点的に取り組み、違反ドライバーに対して、適切に指</p>

導や摘発をしているとお聞きしています。

また、越前市では、市や市内の企業・団体等で構成する市交通安全推進協議会を設置しています。

同協会では、四季の交通安全県民運動の街頭指導をはじめ、従業員に対する交通安全啓発や安全運転教育などにも積極的に取り組んでいます。

今後とも、市では、警察や交通安全対策に取り組む諸団体と連携して、交通事故防止対策に取り組んでまいります。

《参考》

道路交通法上、違反すると「横断歩行者妨害」となり、違反点数2点、反則金は9,000円（普通車）。同時に刑事罰もあり、3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金が科せられる。

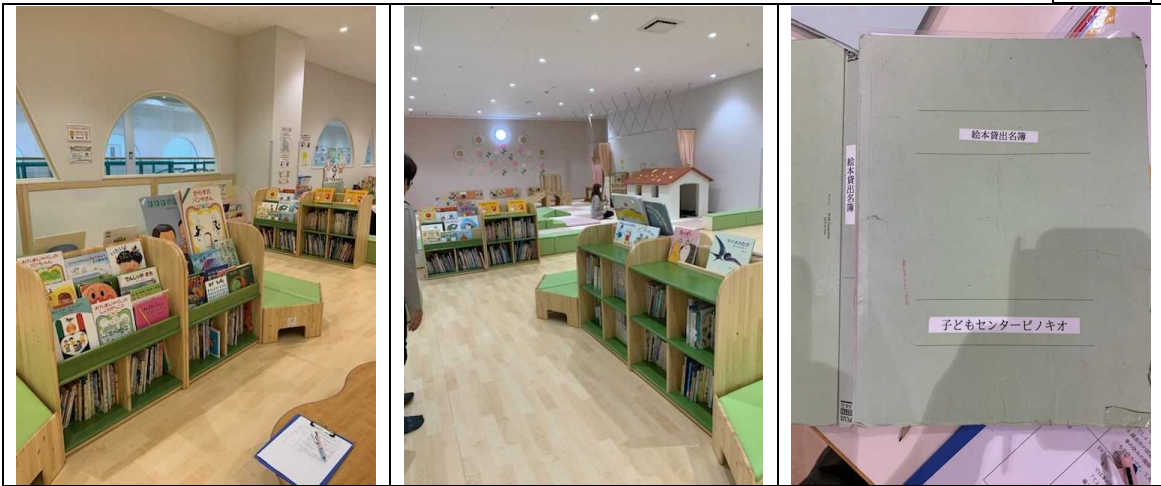
「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
 (福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	農林整備課
<p>課題2  「交通・安全対策について」  (意見・質問事項)</p>	<p>《ニ》クマやイノシシなどが市街地にまで出るようになりました。捕獲・駆除するのも必要ですが、そもそもの原因は自然と人間の緩衝地帯である里山の荒廃です。大量に植えられた杉が放置され不毛の山となっています。杉を伐採して実のなる木を植えて豊かな山を復活させる一方で、不必要になった柿の木の伐採に補助金を支給して、動物を里から山に誘導してはいかがでしょうか。防犯カメラの設置は進んでいるのでしょうか。</p>
<p>回答内容</p>	<p>ご意見いただいたとおり、里山では手入れされない山が多くなり、それに伴い野生動物の生息範囲が拡大し、住宅地などにも出やすい状況になったことが一つの原因として挙げられます。</p> <p>また、放任果樹の対策ですが、昨年に引き続きツキノワグマの出没が多いことから、放任果樹の管理についてチラシを配布して、所有者に注意喚起を行っており、本年も集落のご協力により自主的な伐採が行われています。</p> <p>動物を山に誘導させるため、杉を伐採し実のなる木を植える提案ですが、大半の山林は、民有林で行政が実施することは困難です。</p> <p>里山と里地の間に野生動物との緩衝帯がない場合は、山の実が不作の年には野生動物が住宅地に出没することも予測されますので、山際の緩衝地帯管理が重要です。現在、市では山際緩衝帯事業を継続して実施していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

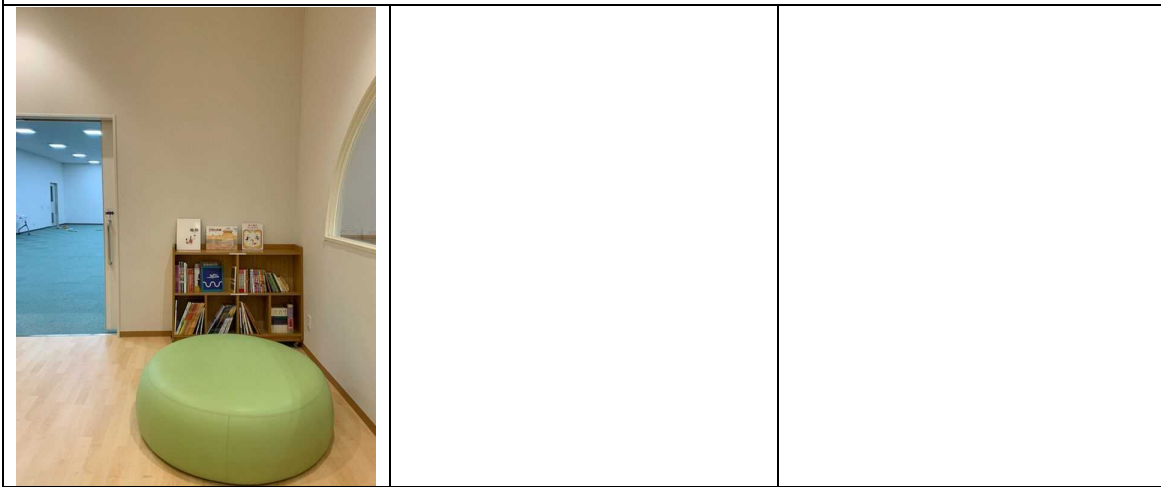


「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
 (福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担 当 課 名	図書館・子ども福祉課
<p>課題3            「子育て環境について」            (意見・質問事項)</p>	<p>《ロ》「てんぐちゃん広場」にミニ図書館機能を付加したらどうでしょうか。</p> <p>《ハ》越前市の図書館は二館とも月曜が休館になっています。仕事の休みの関係で月曜日に子どもを連れていこうとしてもお休みです。工夫してどこか一館を開くことはできないでしょうか。</p>
<p>回答内容</p>	<p>《ロ》 てんぐちゃん広場には約 200 冊の絵本があり、貸出もしております。ぜひご利用ください。※主に 101 ちゃんのおへやにあります。(子ども福祉課)</p> <p>なお、図書館では、図書館情報システムによって図書の一元管理をしています。そのため、システムが導入されていない所では本の貸し出しは行っておりませんので、ご理解をお願いします。(図書館)</p> <p>《ハ》 越前市の図書館は二館とも月曜が休館になっていますが、月曜日も利用できるようにと、かこさとしふるさと絵本館を月曜日開館としています。特に絵本館は親子で絵本を楽しめる施設ですので、ぜひ子どもさんと一緒に絵本館をご利用いただけたらと思います。(図書館)</p> <p>また、てんぐちゃん広場にも約 200 冊の絵本がありますので、ぜひご利用ください。</p> <p>(子ども福祉課)</p> <p>(男女共同参画センターあんだんてにも絵本がありますが、残念ながら、月曜日は休館日となっています。)</p> <p>※参考：次ページの写真</p>



↑ てんぐちゃん広場 101ちゃんのおへや



↑ てんぐちゃん広場 どんどこどんのおへや



↑ 男女共同参画センター あんだんて

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
 (福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	健康増進課
<p>課題3  「子育て環境について」  (意見・質問事項)</p>	<p>《二》 越前市の母子手帳の表紙デザインに加古里子さんのイラストを採用してはどうでしょう。</p>
<p>回答内容</p>	<p>《二》 本市の母子手帳は、「親子健康手帳」として幼児期だけではなく、高校生まで記録できる内容のものを、出版社に発注して購入しております。表紙を市オリジナルのものにして作成できないか出版社に問い合わせたところ、現在購入している金額の3～4倍の費用がかかるため、表紙の変更は難しい状況です。</p> <p>加古里子さんの絵本にこめた子どもたちへの思いについては、だるまちゃん広場やてんぐちゃん広場などで生かしていきたいと思います。</p> <p><b>【参考】</b>  現在1冊200円で購入。  オリジナル表紙は1冊600円～700円  外国語版 ポルトガル語やベトナム語は1冊800円</p>

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
(福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	子ども福祉課
課題4 「保育園・こども園 の環境整備につい て」 (意見・質問事項)	《イ》保育園・こども園の先生の待遇を改善してください。子どもが大好きな先生が次々とやめていくのは悲しいです。労働に見合わない給料では長続きしないし、新しい先生もきません。先生が足りないと入園もできません。
回答内容	《イ》私立園職員の給与については、毎年処遇改善が行われています。令和2年度からは制度改正により、前年度に対し改善するようになり、市も指導しています。 また、公立園職員の給与についても、令和2年度より非正規職員は会計年度任用職員となり、処遇改善が図られました。 なお、保育業務においては、市内全園でICT導入により、事務処理の部分で効率化が進んでおり、実際に超過勤務が減少したケースもあります。 今後も保育士等の処遇改善に取り組んでいきます。

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
(福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担 当 課 名	子ども福祉課
課題4 「保育園・こども園 の環境整備につい て」 (意見・質問事項)	《ロ》入所申請関係書類の電子化、押印ルールの廃止をお願い致します。
回答内容	<p>《ロ》令和2年10月より勤務証明書の押印を不要としています。また、関係書類を市ホームページに掲載し取得しやすいようにしています。その他の押印を必要とする関係書類の押印の廃止についても引き続き検討していきます。</p> <p>なお、提出書類の訂正箇所については訂正印を押印していただいていますのでご理解いただきますようお願いいたします。</p>

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
(福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	子ども福祉課
課題4 「保育園・こども園 の環境整備につい て」 (意見・質問事項)	《ハ》市内の保育園は今後こども園になっていくのでしょうか。
回答内容	<p>《ハ》越前市子ども・子育て支援計画（第2次）に沿い、地域の実情を踏まえ、幼児教育と保育を総合的に提供し、地域における子育て支援を行う機能を備える認定こども園の普及を図ってまいります。</p> <p>公立認定こども園については、市教育施設等長寿命化方針第1期である令和8年度までに、まずは、西校区における幼保一体化による施設整備を行い、順次認定こども園への移行をめざします。</p>

「令和2年度 市長と語ろう 夢・まちづくりトーク」回答  
 (福井県民間保育園保護者会連合会越前ブロック)

担当課名	防災危機管理課
<p>課題5  「原子力災害への対応について」  (意見・質問事項)</p>	<p>安全といわれていた原子力発電所も 50年に一度は重大事故が起きることが明らかになりました。リスクを低く見積もることなく、現実的かつ実効性のある原子力防災計画を策定してから再稼働やリプレースを論じてください。</p> <p>各園には「原子力防災マニュアル」作成が義務化され、例年のように県から「原子力防災に関する事前準備、避難訓練の実施等について」アンケートがきます。たとえば「避難先施設との事前協議」。越前市の避難先は石川県小松市ですが、園ごとに小松市と協議せよとのことですか。そもそも、石川県は何十万人の避難民を受け入れることを想定していますか。被害予測を示さないまま、園に「事前準備・避難訓練」を丸投げするのは無責任ではないでしょうか。園で対応できるのは屋内退避までです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●隣県避難が必要な状況とはどれほどの規模の原子力災害(事故)なのか</li> <li>●地震で道路が寸断されたら</li> <li>●住民が指示通り段階的に整然と待機し順序良く避難してくれるか</li> <li>●自家用車は幹線道路に何万台集中するか(県民所有の自家用車は50万台)</li> <li>●避難に必要なバスは確保・手配はできるのか(国体開催ですらバス確保が困難)</li> <li>●大雪のときはどうするのか 等々。疑問が出ない方が不自然です。</li> </ul> <p>水害も地震も防災計画では最悪のリスクを想定するのに、原子力災害の防災計画だけはきわめて楽観的な想定に則っているようです。</p> <p>子どもたちの命にかかわりことです。国が、自治体が、電力会社が、という責任の押し付け合いをせず、事故が起きたらどうなるか、どうするか、<u>考えないこと</u>にせず、市民に見える形で真剣に向き合ってください。</p>

回答内容	<p>本市は、敦賀市や美浜町に立地する原子力発電所から概ね半径30キロ圏内（UPZ圏内）に位置しています。</p> <p>原子力発電所の安全対策は、国や原子力事業者が責任をもって対応すべきであり、本市においては、万一、原子力施設で重大事故等が発生した際に、市民の生命、身体、財産を守ることを第一に、市地域防災計画（原子力災害編）や住民避難計画などを定めています。</p> <p>ご意見のように原子力災害時の避難等の対応については、様々な課題があることは理解しており、今後も国や県、原子力事業者に対して、原子力防災体制の整備等に関して、強く要望してまいります。</p> <p>なお、各園でも原子力災害時避難計画を作成していただいておりますが、原子力災害時においては、国から県及び市に情報が伝達され、県や市からの指示に従って行動していただく必要がありますので、園での独自の判断で行動することはありません。</p> <p>《参考》</p> <p>越前市は、県内ではあわら市、坂井市、石川県の小松市、能美市が原子力災害時の広域避難先となっており、各自治体において避難者受入マニュアルを整備されております。</p> <p>万が一原子力災害が発生した場合、発電所の事象の進展や放射性物質の放出状況に合わせた避難等の防護措置の実施について、市では国から指示を受け住民に伝達することとなりますが、各園におかれては市からの情報により、屋内退避の準備や屋内退避等の対応を図っていただくこととなります。</p> <p>放射性物質が放出される可能性が非常に高まった事態となり、国が全面緊急事態を発令した場合、UPA 圏内の自治体は屋内退避となりますが、この間に園児を保護者に引き渡していただくこととなります。引き渡しが出来ない場合、広域避難計画や市災害対策本部からの指示等により行動していただくこととなります。</p> <p>（各地区で定められている一時集合場所へ参集、バスでの避難。）</p> <p>まずは、これら一連の行動の流れについて、各園におかれましてもご確認いただき、備えていただきたく存じます。</p>
------	---